

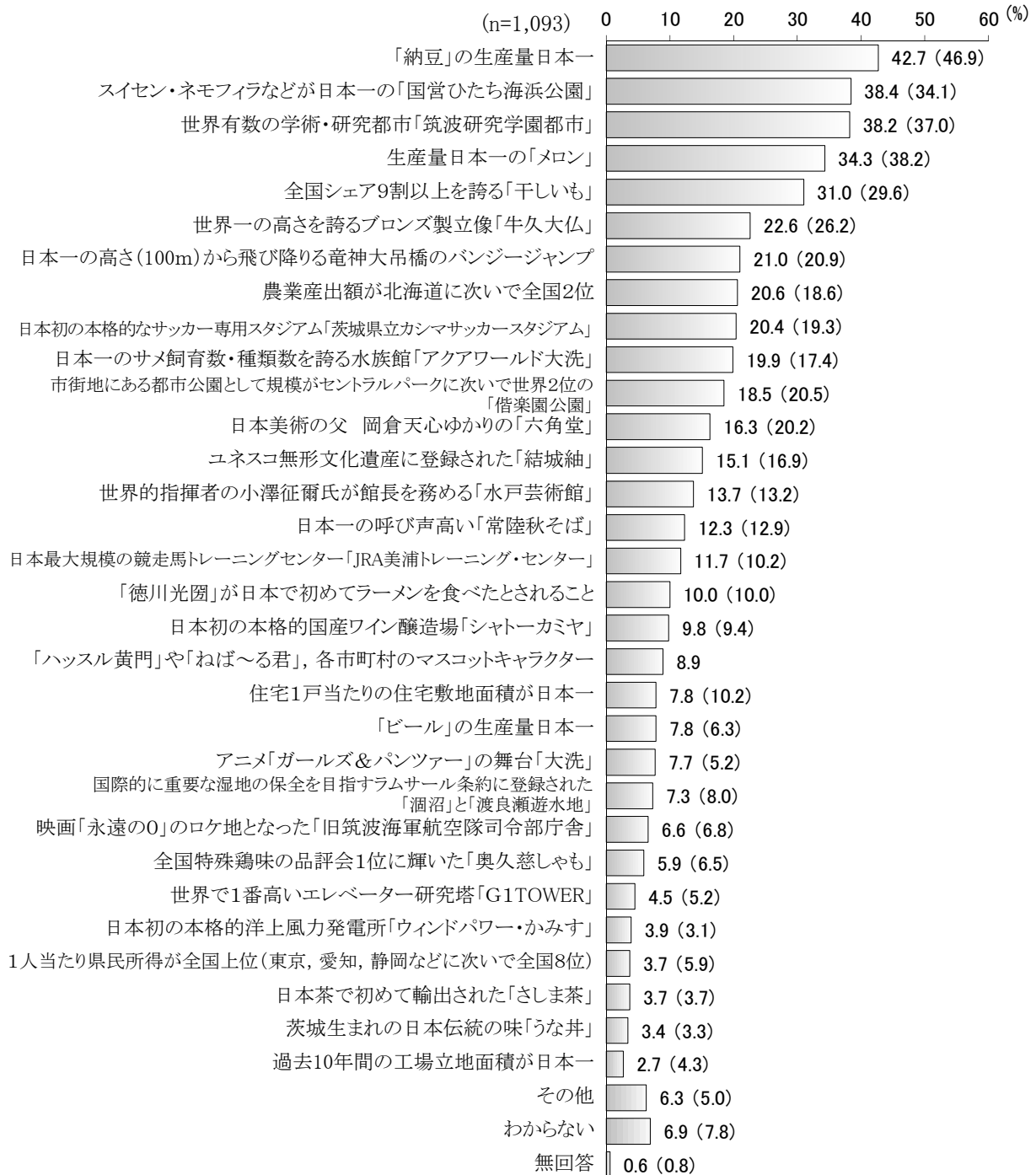
II 茨城県民の郷土愛

1. 茨城県の魅力

(1) 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）

－ 「納豆」の生産量日本一が4割超－

問3 茨城県には、日本や世界で有数のもの、最近話題として取り上げられているものがたくさんあります。次の中から、あなたが知人に自慢したいもの（自慢したいこと）として、あてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成27年の調査結果

※ 「「ハッスル黄門」や「ねば〜る君」、各市町村のマスコットキャラクター」は、平成27年では選択肢になし

※ 「1人当たり県民所得が全国上位（東京，愛知，静岡などに次いで全国8位）」は、平成27年では「1人当たり県民所得が東京，愛知，静岡に次いで全国4位」

知人に自慢したいもの（自慢したいこと）としては、「納豆」の生産量日本一（42.7%）が4割を超えて最も高く、次いで、「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」（38.4%）、「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」（38.2%）、「生産量日本一の「メロン」（34.3%）、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」（31.0%）が3割台で続いている。

ースイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」が約4ポイント増加ー

前回調査（昨年）と比べると、「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」が約4ポイント増加している。一方、「納豆」の生産量日本一、「生産量日本一の「メロン」」、「世界一の高さを誇るブロンズ製立像「牛久大仏」は約4ポイント減少している。

ー県北と県央で「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」が約5割ー

地域別でみると、「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」は、県北（49.0%）と県央（47.1%）で約5割と高くなっている。

ー県南で「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」が5割台半ばー

地域別でみると、「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」は、県南（55.0%）で5割台半ばと最も高くなっている。

ー鹿行で「生産量日本一の「メロン」が5割台半ば、「日本初の本格的なサッカー専用スタジアム「茨城県立カシマサッカースタジアム」が約5割ー

地域別でみると、鹿行では「生産量日本一の「メロン」（56.5%）が5割台半ば、「日本初の本格的なサッカー専用スタジアム「茨城県立カシマサッカースタジアム」（47.8%）が約5割とそれぞれ最も高くなっている。

ー女性で「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」が男性よりも約20ポイント、「生産量日本一の「メロン」が男性よりも約10ポイント高いー

性別でみると、「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」は、女性（48.3%）が男性（28.0%）よりも約20ポイント、「生産量日本一の「メロン」は、女性（39.0%）が男性（29.3%）よりも約10ポイント高くなっている。

ー女性の60代と70歳以上で「納豆」の生産量日本一が5割台ー

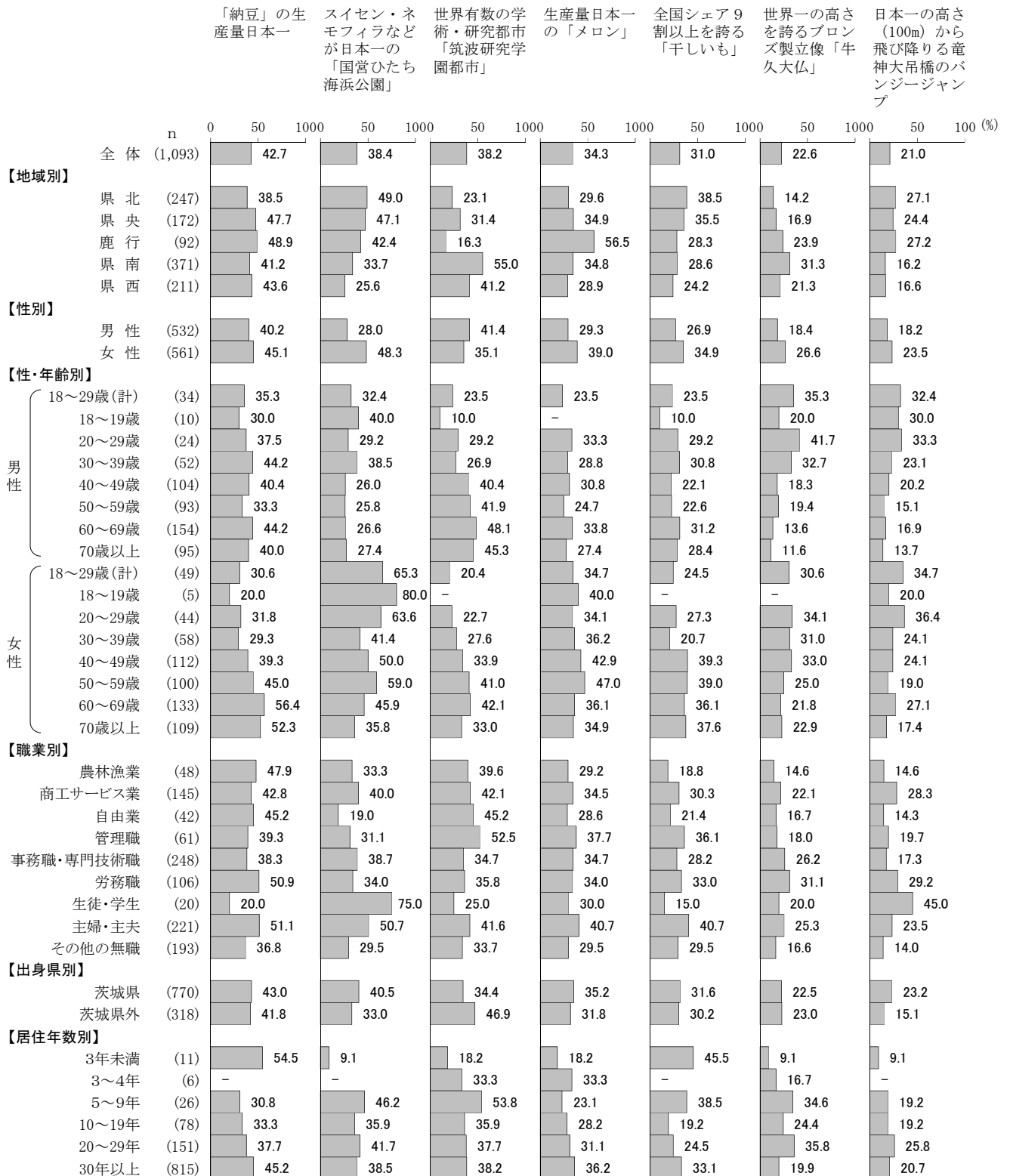
性・年齢別でみると、「納豆」の生産量日本一は、女性の60代（56.4%）と70歳以上（52.3%）で5割台と高くなっている。

ー女性の18～29歳で「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」が6割台半ばー

性・年齢別でみると、「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」は、女性の18～29歳（65.3%）で6割台半ばと高く、次いで、女性の50代（59.0%）で約6割となっている。

図Ⅱ 3-1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）

（地域別、性別、性・年齢別、職業別、出身県別、居住年数別—上位14項目）



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

表Ⅱ 3-1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）
（前回調査との比較－上位5項目）

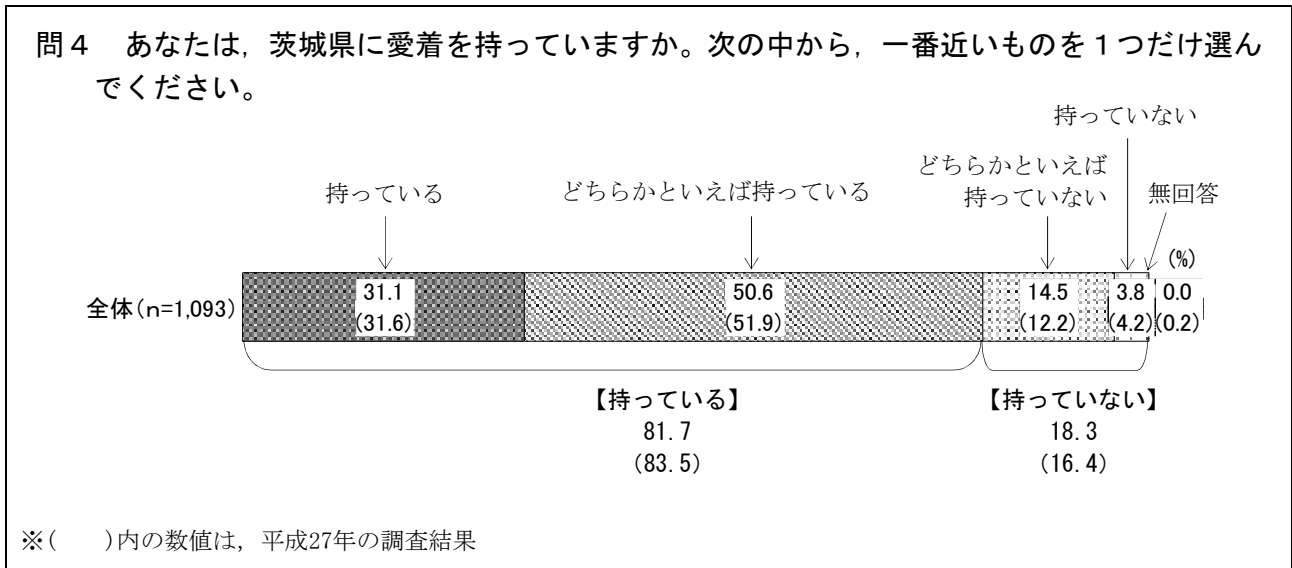
（単位：％）

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査（H28） n=1,093	「納豆」の生産量 日本一 42.7	スイセン・ネモ フィラなどが日本 一の「国営ひたち 海浜公園」 38.4	世界有数の学術・ 研究都市「筑波研 究学園都市」 38.2	生産量日本一の 「メロン」 34.3	全国シェア9割以 上を誇る「干しい も」 31.0
前回調査（H27） n=1,105	「納豆」の生産量 日本一 46.9	生産量日本一の 「メロン」 38.2	世界有数の学術・ 研究都市「筑波研 究学園都市」 37.0	スイセン・ネモ フィラなどが日本 一の「国営ひたち 海浜公園」 34.1	全国シェア9割以 上を誇る「干しい も」 29.6

2. 茨城県に対する愛着

(1) 茨城県に対する愛着の有無

－【持っている】が8割超－

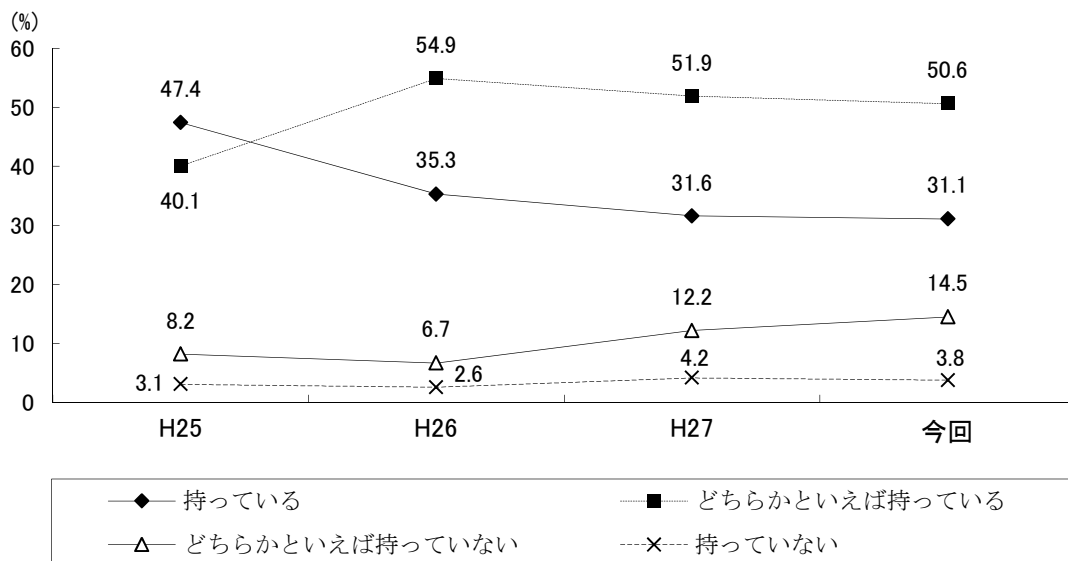


茨城県に対して、愛着を「持っている」(31.1%)と「どちらかといえば持っている」(50.6%)を合わせた【持っている】(81.7%)が8割を超えている。一方、「どちらかといえば持っていない」(14.5%)と「持っていない」(3.8%)を合わせた【持っていない】(18.3%)は約2割となっている。

－特に大きな増減はない－

前回調査(昨年)と比べると、特に大きな差はみられない。

図Ⅱ 4-1 茨城県に対する愛着の有無(時系列)



ー県央で【持っている】が8割台半ばー

地域別でみると，【持っている】は，県央（84.9％）で8割台半ばと最も高くなっている。

ー女性の70歳以上で【持っている】が約9割ー

性・年齢別でみると，【持っている】は，女性の70歳以上（88.1％）で約9割と最も高くなっている。

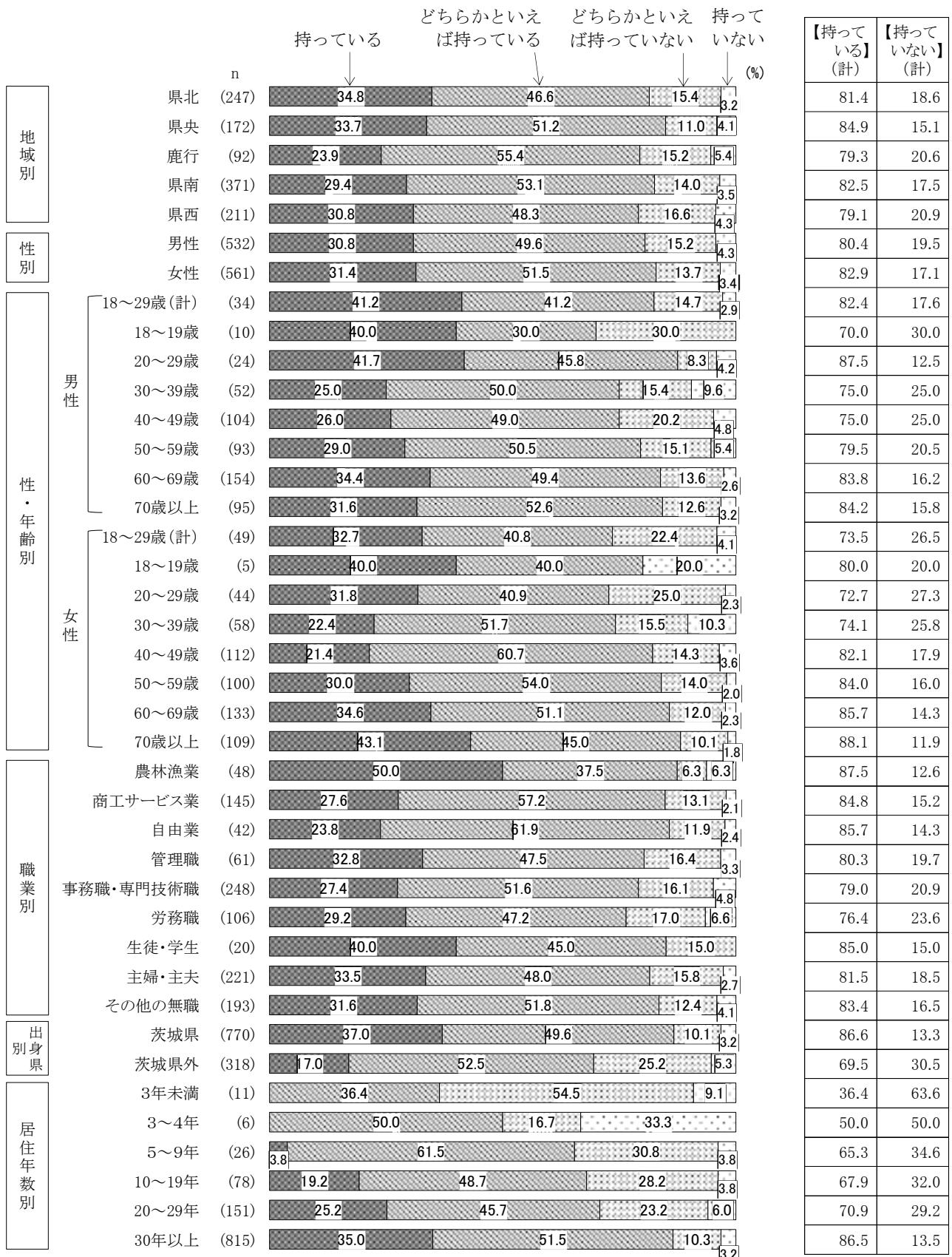
ー農林漁業で【持っている】が約9割ー

職業別でみると，【持っている】は，農林漁業（87.5％）で約9割と最も高くなっている。

ー茨城県出身者は【持っている】が茨城県外出身者よりも約17ポイント高いー

出身県別でみると，【持っている】は，茨城県出身者（86.6％）が茨城県外出身者（69.5％）よりも約17ポイント高くなっている。

図Ⅱ 4-2 茨城県に対する愛着の有無
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, 出身県別, 居住年数別)



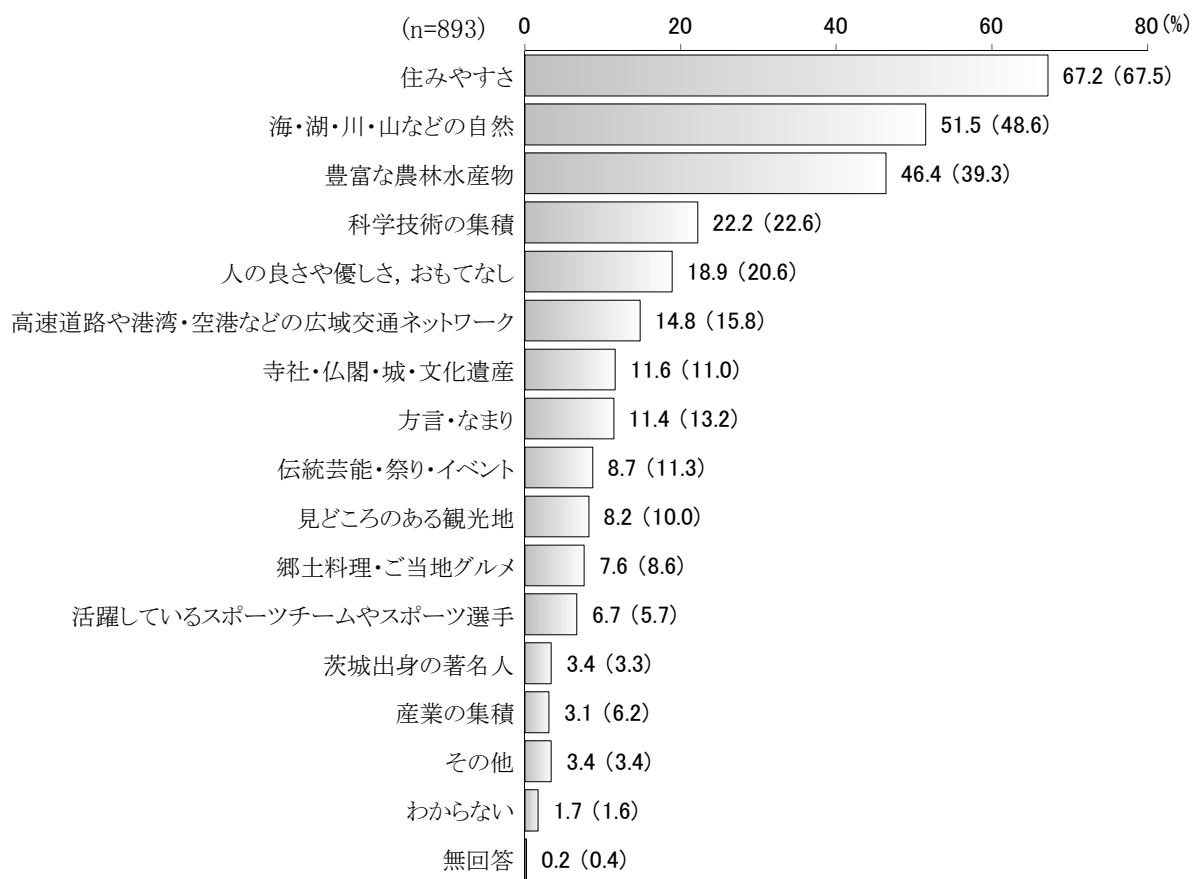
(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

(2) 茨城県に愛着を感じるどころ

－「住みやすさ」が約7割－

(問4で「1 持っている」, 「2 どちらかといえば持っている」と回答した方のみ)

問4-1 あなたは、茨城県のどのようなところに愛着を感じますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成27年の調査結果

茨城県に愛着を【持っている】と回答した方に、愛着を感じるどころを聞いたところ、「住みやすさ」(67.2%)が約7割と最も高く、次いで、「海・湖・川・山などの自然」(51.5%)が5割台、「豊富な農林水産物」(46.4%)が4割台で続いている。

－「豊富な農林水産物」が約7ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、「豊富な農林水産物」が約7ポイント増加している。

－県南で「住みやすさ」が7割台半ば－

地域別でみると、「住みやすさ」は、県南(73.9%)で7割台半ばと最も高くなっている。

－男性の40代で「住みやすさ」が8割超－

性・年齢別でみると、「住みやすさ」は、男性の40代(82.1%)で8割を超えて高く、次いで、男性の30代(74.4%)と女性の50代(76.2%)で7割台半ばとなっている。

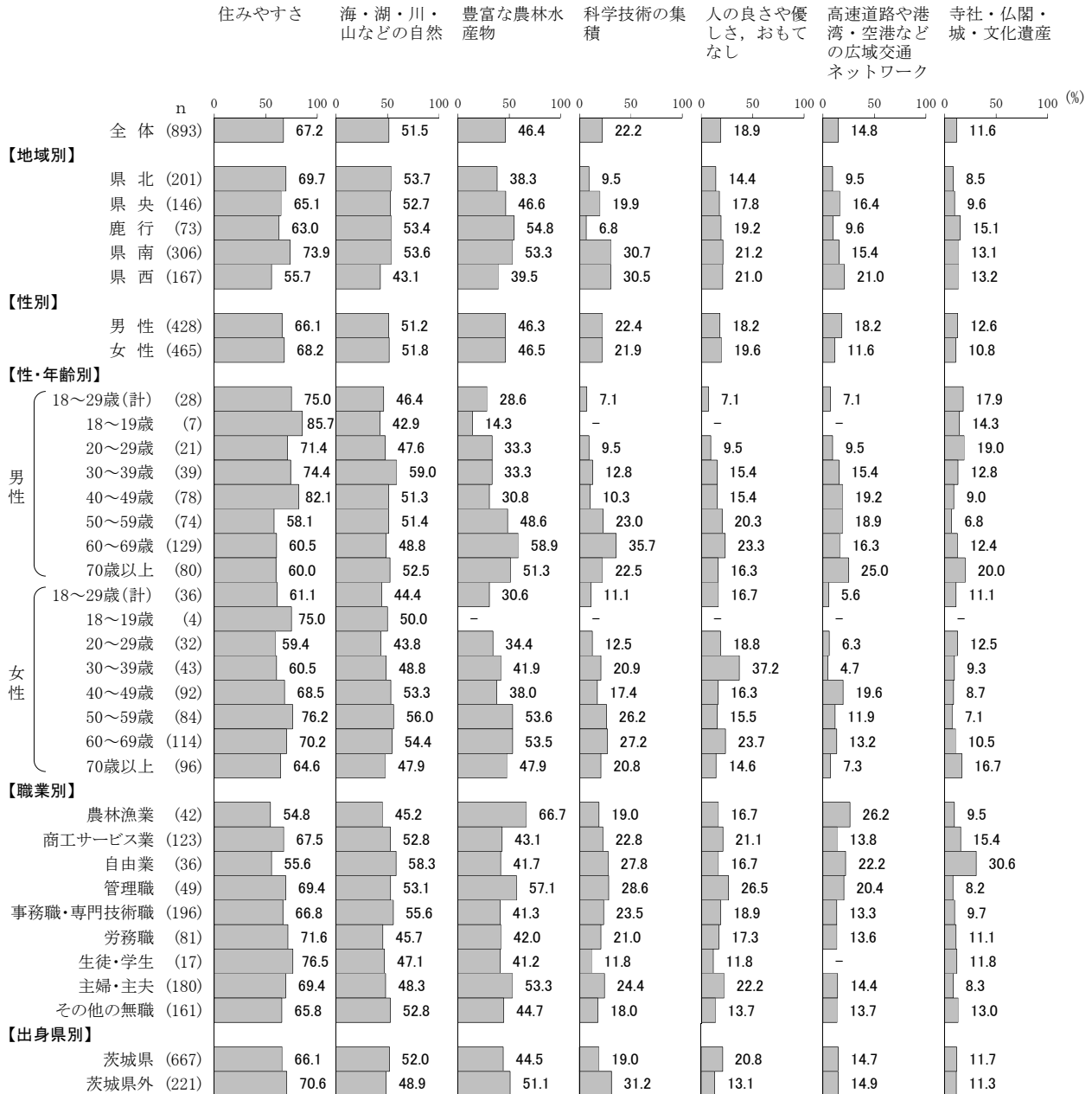
－農林漁業で「豊富な農林水産物」が6割台半ば－

職業別でみると、「豊富な農林水産物」は、農林漁業(66.7%)で6割台半ばと最も高く、次いで、管理職(57.1%)で約6割、主婦・主夫(53.3%)で5割台半ばと高くなっている。

一茨城県外出身者は「科学技術の集積」が茨城県出身者よりも約12ポイント高い一

出身県別でみると、「科学技術の集積」は、茨城県外出身者（31.2%）が茨城県出身者（19.0%）よりも約12ポイント高くなっている。

図Ⅱ 4-1-1 茨城県に愛着を感じるどころ
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, 出身県別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

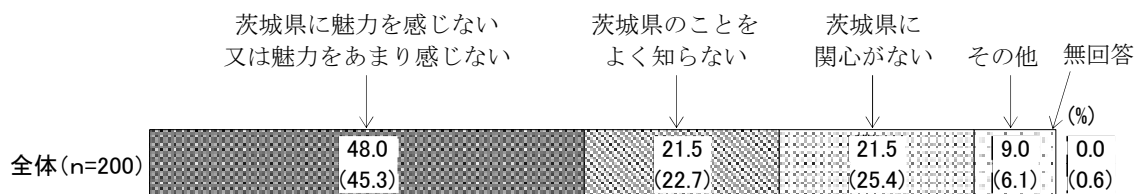
表Ⅱ 4-1-1 茨城県に愛着を感じるどころ
(前回調査との比較—上位5項目)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H28) n=893	住みやすさ 67.2	海・湖・川・山などの自然 51.5	豊富な農林水産物 46.4	科学技術の集積 22.2	人の良さや優しさ, おもてなし 18.9
前回調査 (H27) n=922	住みやすさ 67.5	海・湖・川・山などの自然 48.6	豊富な農林水産物 39.3	科学技術の集積 22.6	人の良さや優しさ, おもてなし 20.6

(3) 茨城県に愛着を持たない理由

－「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」が約5割－

(問4で「3 どちらかといえば持っていない」, 「4 持っていない」と回答した方のみ)
問4-2 愛着を持っていない理由について, 次の中から, 一番近いものを1つだけ選んでください。



※()内の数値は, 平成27年の調査結果

茨城県に愛着を【持っていない】と回答した方に, 持っていない理由を聞いたところ, 「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」(48.0%)が約5割と最も高く, 次いで, 「茨城県のことをよく知らない」と「茨城県に関心がない」(それぞれ21.5%)が2割台となっている。

－「茨城県に関心がない」が約4ポイント減少－

前回調査(昨年)と比べると, 「茨城県に関心がない」が約4ポイント減少している。

－県南で「茨城県のことをよく知らない」が3割台半ば－

地域別でみると, 「茨城県のことをよく知らない」は, 県南(33.8%)で3割台半ばと最も高くなっている。

－女性で「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」が男性よりも約10ポイント高い－

性別でみると, 「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」は, 女性(53.1%)が男性(43.3%)よりも約10ポイント高くなっている。一方, 「茨城県に関心がない」は, 男性(26.0%)が女性(16.7%)よりも約9ポイント高くなっている。

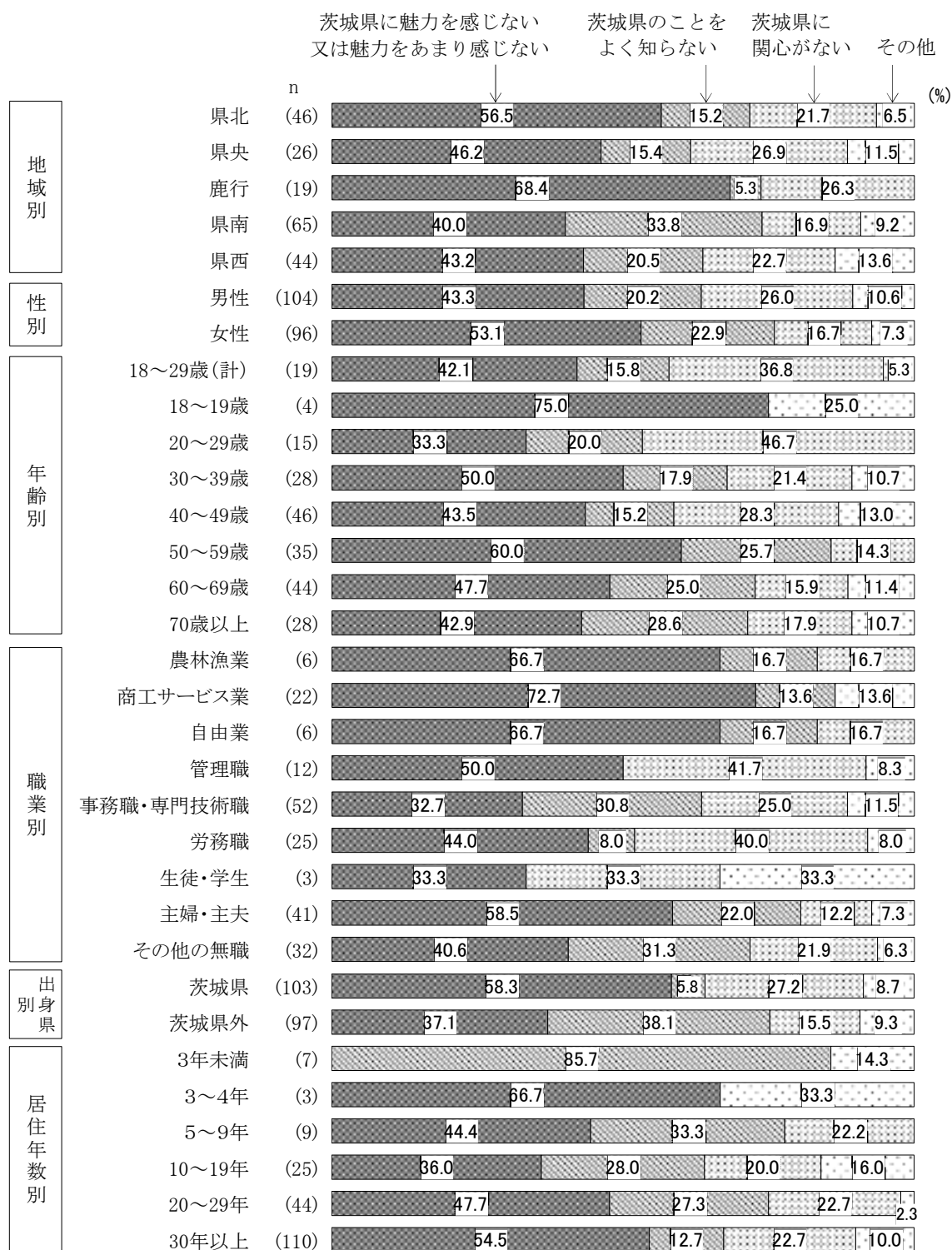
－50代で「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」が6割－

年齢別でみると, 「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」は, 50代(60.0%)で6割と高くなっている。

－茨城県外出身者は「茨城県のことをよく知らない」が茨城県出身者よりも約32ポイント高い－

出身県別でみると, 「茨城県のことをよく知らない」は, 茨城県外出身者(38.1%)が茨城県出身者(5.8%)よりも約32ポイント高くなっている。一方, 「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」は, 茨城県出身者(58.3%)が茨城県外出身者(37.1%)よりも約21ポイント高くなっている。

図Ⅱ 4-2-1 茨城県に愛着を持たない理由
(地域別, 性別, 年齢別, 職業別, 出身県別, 居住年数別)

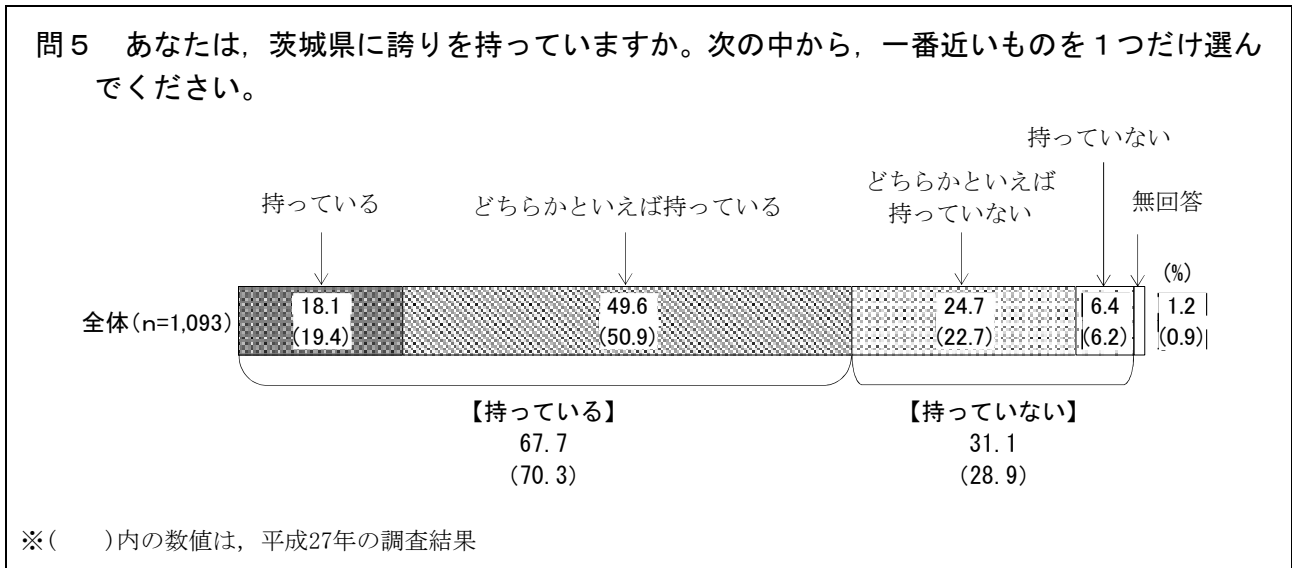


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
年齢別では、18～19歳、20～29歳よりも18～29歳の層の分析を優先する。

3. 茨城県に対する誇り

(1) 茨城県に対する誇りの有無

－【持っている】が約7割－

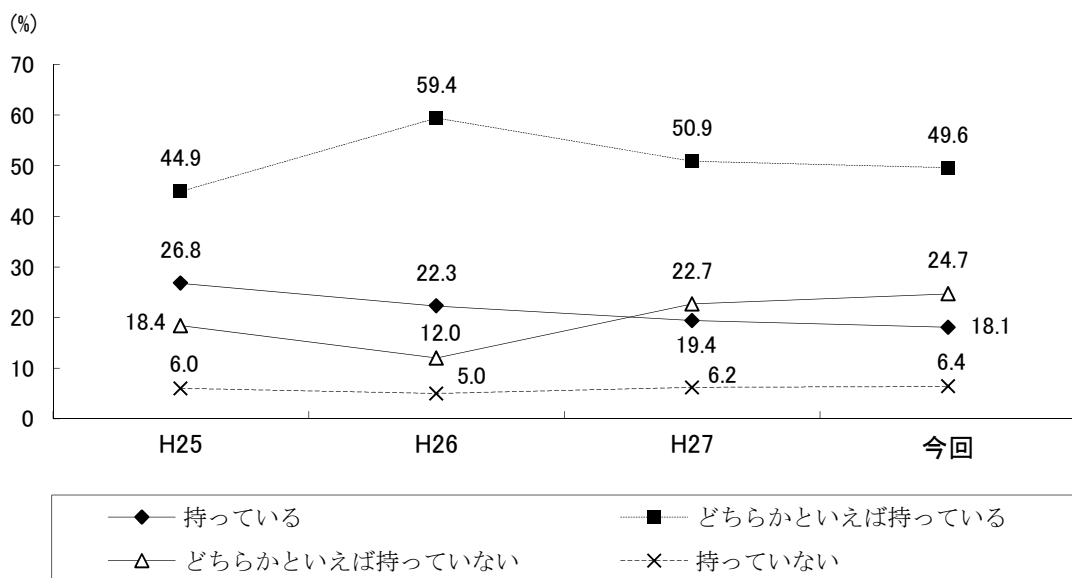


茨城県に対して、誇りを「持っている」(18.1%)と「どちらかといえば持っている」(49.6%)を合わせた【持っている】(67.7%)が約7割となっている。一方、「どちらかといえば持っていない」(24.7%)と「持っていない」(6.4%)を合わせた【持っていない】(31.1%)は3割を超えている。

－特に大きな増減はない－

前回調査(昨年)と比べると、特に大きな差はみられない。

図Ⅱ 5-1 茨城県に対する誇りの有無(時系列)



ー県央で【持っている】が約8割ー

地域別でみると，【持っている】は，県央（77.9%）で約8割と最も高くなっている。

ー女性の70歳以上で【持っている】が約8割ー

性・年齢別でみると，【持っている】は，女性の70歳以上（78.9%）で約8割と高く，次いで，男性の18～29歳（76.5%），60代（74.0%），女性の60代（74.4%）で7割台半ばとなっている。

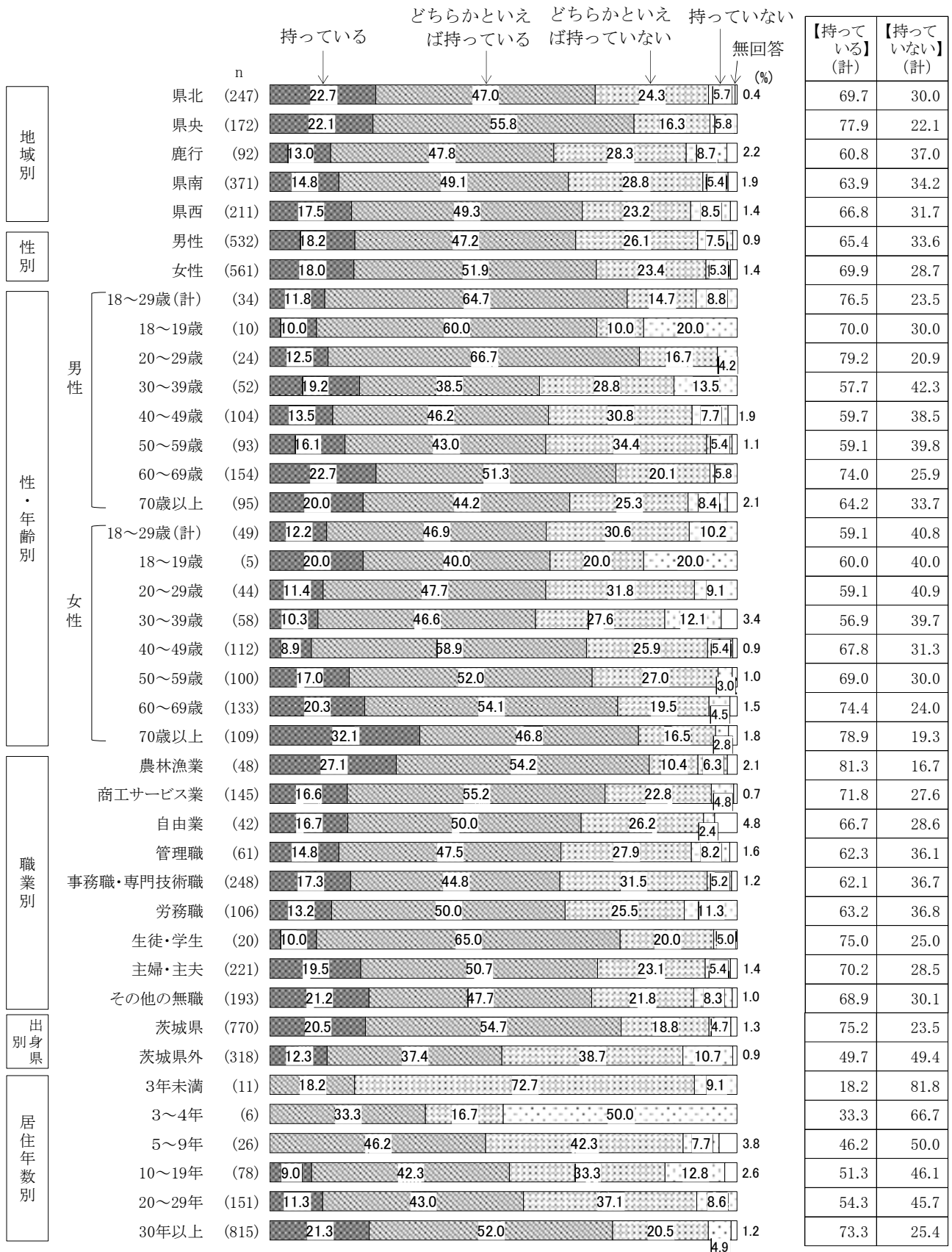
ー農林漁業で【持っている】が8割超ー

職業別でみると，【持っている】は，農林漁業（81.3%）で8割を超えて最も高くなっている。

ー茨城県出身者は【持っている】が茨城県外出身者よりも約26ポイント高いー

出身県別でみると，【持っている】は，茨城県出身者（75.2%）が茨城県外出身者（49.7%）よりも約26ポイント高くなっている。

図Ⅱ 5-2 茨城県に対する誇りの有無
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, 出身県別, 居住年数別)

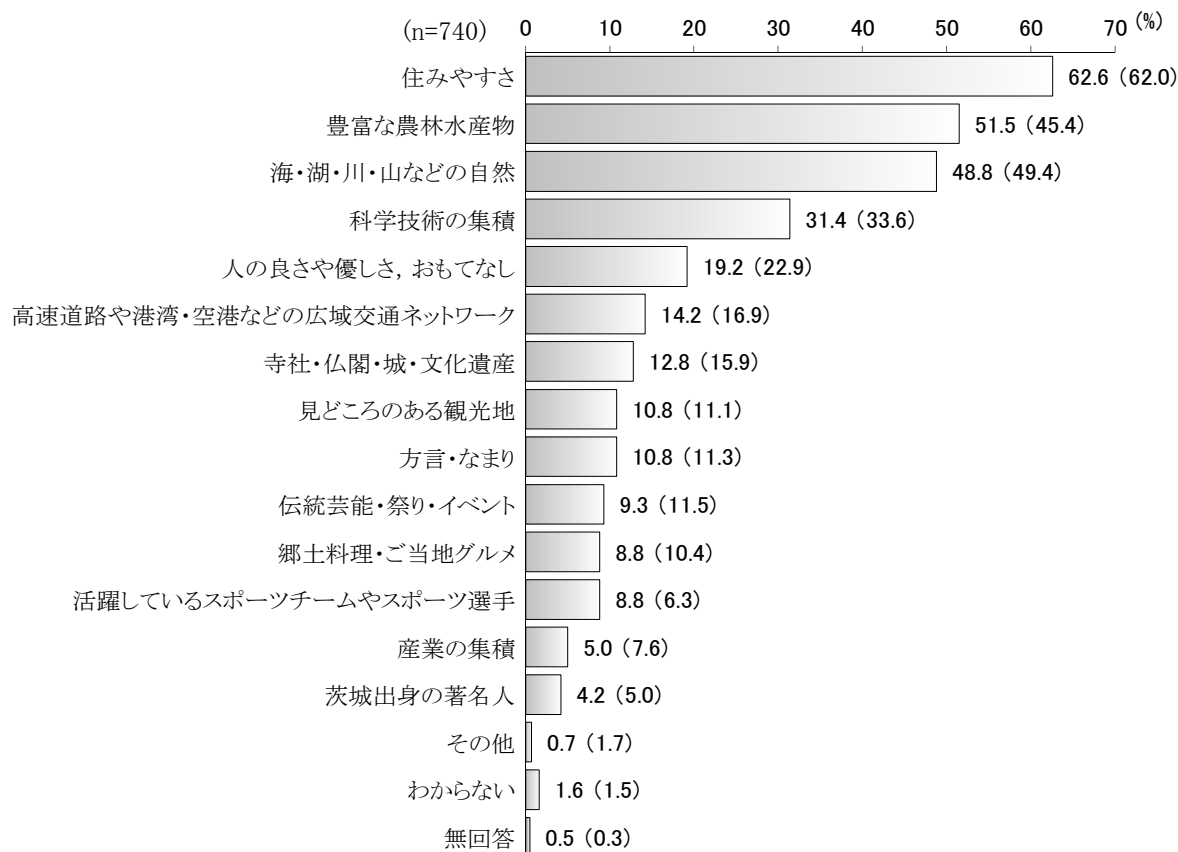


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

(2) 茨城県に誇りを感じるどころ

－「住みやすさ」が6割超－

(問5で「1 持っている」, 「2 どちらかといえば持っている」と回答した方のみ)
 問5-1 あなたは、茨城県のどのようなところに誇りを感じますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成27年の調査結果

茨城県に誇りを【持っている】と回答した方に、誇りを感じるどころを聞いたところ、「住みやすさ」(62.6%)が6割を超えて最も高く、次いで、「豊富な農林水産物」(51.5%)が5割台、「海・湖・川・山などの自然」(48.8%)が4割台で続いている。

－「豊富な農林水産物」が約6ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、「豊富な農林水産物」が約6ポイント増加している。

－県南で「住みやすさ」が7割超－

地域別でみると、「住みやすさ」は、県南(72.6%)で7割を超えて最も高くなっている。また、県南では「豊富な農林水産物」(58.6%)が約6割、「科学技術の集積」(45.6%)が4割台半ばと、それぞれ他の地域よりも高くなっている。

－男性の30代と40代で「住みやすさ」が7割台半ば－

性・年齢別でみると、「住みやすさ」は、男性の30代(76.7%)と40代(74.2%)で7割台半ばと高くなっている。

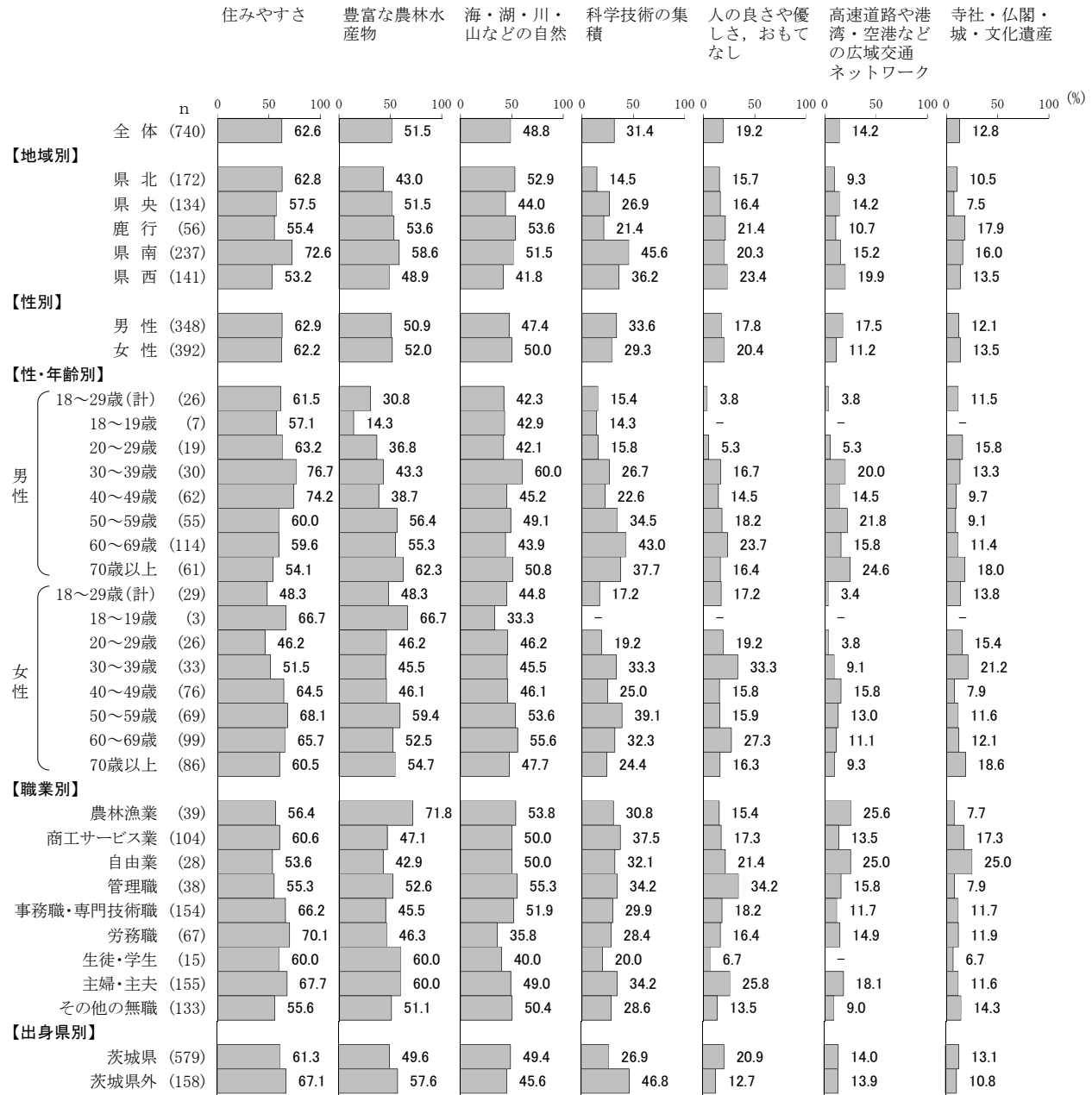
－農林漁業で「豊富な農林水産物」が7割超－

職業別でみると、「豊富な農林水産物」は、農林漁業(71.8%)で7割を超えて最も高く、次いで、主婦・主夫(60.0%)で6割と高くなっている。

一茨城県外出身者は「科学技術の集積」が茨城県出身者よりも約20ポイント高い一

出身県別でみると、「科学技術の集積」は、茨城県外出身者（46.8%）が茨城県出身者（26.9%）よりも約20ポイント高くなっている。

図Ⅱ 5-1-1 茨城県に誇りを感じるどころ
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、出身県別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

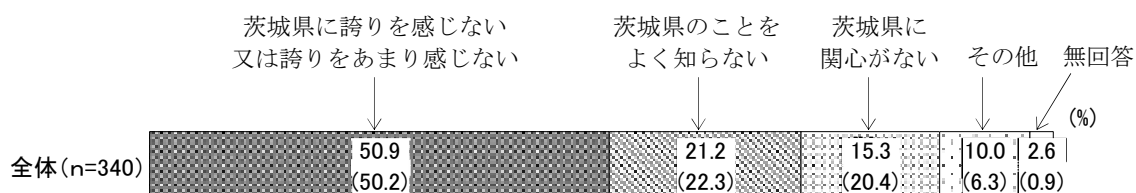
表Ⅱ 5-1-1 茨城県に誇りを感じるどころ
(前回調査との比較—上位5項目)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H28) n=740	住みやすさ 62.6	豊富な農林水産物 51.5	海・湖・川・山などの自然 48.8	科学技術の集積 31.4	人の良さや優しさ, おもてなし 19.2
前回調査 (H27) n=776	住みやすさ 62.0	海・湖・川・山などの自然 49.4	豊富な農林水産物 45.4	科学技術の集積 33.6	人の良さや優しさ, おもてなし 22.9

(3) 茨城県に誇りを持たない理由

－「茨城県に誇りを感じない又は誇りをあまり感じない」が約5割－

(問5で「3 どちらかといえば持っていない」、「4 持っていない」と回答した方のみ)
問5-2 誇りを持っていない理由について、次の中から、一番近いものを1つだけ選んでください。



※()内の数値は、平成27年の調査結果

茨城県に誇りを【持っていない】と回答した方に、持っていない理由を聞いたところ、「茨城県に誇りを感じない又は誇りをあまり感じない」(50.9%)が約5割と最も高く、次いで、「茨城県のことをよく知らない」(21.2%)が2割台となっている。

－「茨城県に関心がない」が約5ポイント減少－

前回調査(昨年)と比べると、「茨城県に関心がない」が約5ポイント減少している。

－鹿行で「茨城県に誇りを感じない又は誇りをあまり感じない」が6割台半ば－

地域別でみると、「茨城県に誇りを感じない又は誇りをあまり感じない」は、鹿行(64.7%)で6割台半ばと最も高くなっている。

－女性で「茨城県のことをよく知らない」が男性よりも約9ポイント高い－

性別でみると、「茨城県のことをよく知らない」は、女性(26.1%)が男性(16.8%)よりも約9ポイント高くなっている。一方、「茨城県に関心がない」は、男性(18.4%)が女性(11.8%)よりも約7ポイント高くなっている。

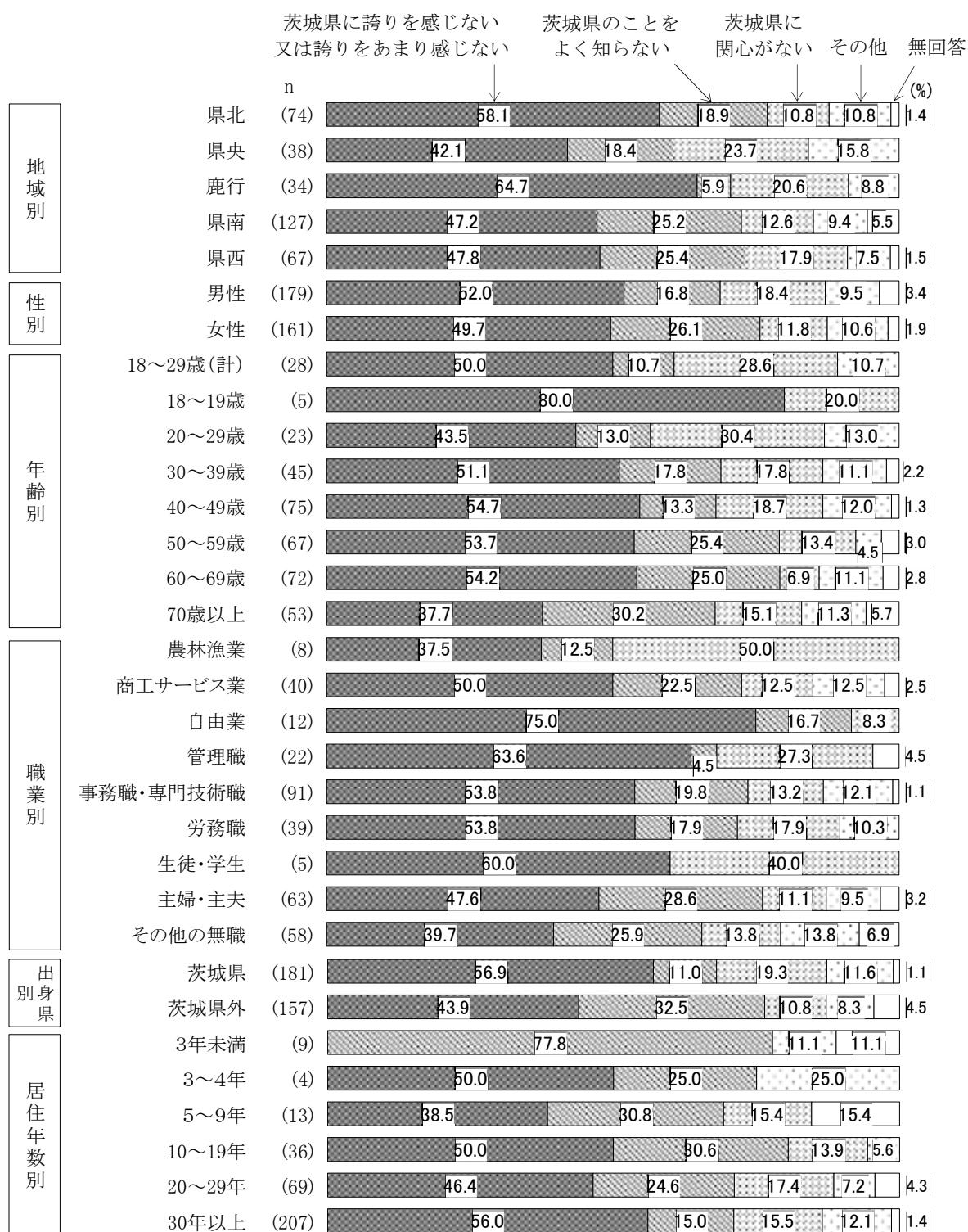
－70歳以上で「茨城県のことをよく知らない」が約3割－

年齢別でみると、「茨城県のことをよく知らない」は、70歳以上(30.2%)で約3割と最も高くなっている。

－茨城県外出身者は「茨城県のことをよく知らない」が茨城県出身者よりも約22ポイント高い－

出身県別でみると、「茨城県のことをよく知らない」は、茨城県外出身者(32.5%)が茨城県出身者(11.0%)よりも約22ポイント高くなっている。一方、「茨城県に誇りを感じない又は誇りをあまり感じない」は、茨城県出身者(56.9%)が茨城県外出身者(43.9%)よりも13ポイント高くなっている。

図Ⅱ 5-2-1 茨城県に誇りを持たない理由
(地域別, 性別, 年齢別, 職業別, 出身県別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
年齢別では、18～19歳、20～29歳よりも18～29歳の層の分析を優先する。